

令和7年度



園だより

3月号

杉並区立下高井戸子供園

教育目標 “しあわせいっぱいの子供園”

○もりもりそだつげんきなからだ ○たいせつななかまとじぶん ○かんじるころとあたま

令和7年度の終わりに…

園長 原 麻弓

令和7年度も残すところ、あとひと月となりました。
ひと月と言っても実際の登園日数は20日前後です。

進級を控えるうさぎ組・くま組では、一人ひとりの
楽しんでいることやできるようになったこと、今まさに
がんばっていることを丁寧に読み取り、一つ学年が
大きくなることに期待をもてるようにしています。

小学校進学を控えるぞう組では、仲間と一緒に過ごす
残りわずかな日々が充実したものになるよう、たっぷり
遊びながら、修了に向けた取組の準備も進めています。

進級・進学を迎えるこの時期は、保護者の皆様にとっても
どことなく落ち着かないかもしれません。
心配なことに意識が向きすぎてしまうこともあります。

そんな時はぜひ目の前のお子様の姿を、そして寝顔をご
覧ください。

こんなことを楽しんでいるんだ…

こんなことを考えているのかもしれない…

これからきっともっとすてきになる…

育ちゆく子どもたちの少し先の未来を楽しみにして
成長を感じていけるといいですね。



春を代表する日本の木と言えば『桜』。

桜は、開花前の冬が寒ければ寒いほど春になると
色の濃い美しい花を咲かせるそうです。

もし今日が、あるいは子供園での生活の日々の中
で、これから先の生活の中で、思いもよらない
悲しいことやつらいことに向き合わなければならな
くなったとき、寒い冬を乗り越えて美しく咲く桜の
ことを思い出していただければと思います。



令和7年度の下高井戸子供園の教育・保育への多
大なご理解とご協力を賜りました。保護者の皆様、地
域の皆様にはこの場を借りて感謝申し上げます。

ありがとうございました。

あとひと月、子供園での遊びや生活が子どもたち
にとって楽しいものとなりますよう、教職員一同
教育活動を進めてまいります。どうぞよろしく
お願いいたします。

また、今年度いただきました保護者の皆様から
のご意見・ご提案等を次年度以降の教育・保育に
生かし、よりよい子供園の運営を推進してまいり
ます。

【3月の保育】



年少うさぎ組

学級のみんなで劇遊びをしたり、歌や合奏をしたりする中で、自分なりにのびのびと表現する楽しさや、周りの友達と同じ動きや声そろそろ嬉しさを味わってきました。年少児なりに、学級のみんなの気持ちがつながる楽しさを少しずつ感じられるようになっていきます。

3月は、うさぎ組で楽しかったことやできるようになったことを振り返りながら、大きくなったことを喜び、自信につなげていきます。残りの生活でもくま組やぞう組と交流する機会をもち、一緒に遊ぶ中で「うれしいな。」「あんなふうになりたいな。」というお兄さん、お姉さんへの憧れの気持ちが、進級への期待感につながるようにします。

年中くま組

やりたい遊びを見つけると「こうするのはどうかな?」「もっとこうしたらいいかな?」と考えたり、実際にやってみたりしながら、自分で遊びを進めることを楽しんでいきます。やりたいことが実現でき、「幼稚園で遊ぶの大好き!」という喜びや満足感がもてるようにします。

あと1か月でいよいよ年長組になります。お休み調べや誕生会の司会など、ぞう組のお兄さん、お姉さんから優しく教えてもらい「今度は自分たちがやるんだ!」と張り切って取り組んでいます。

日々の生活の中で、できるようになってきたことや頑張っていることなどを言葉にして伝えながら、子どもたち一人ひとりが自信をもち、進級への期待をもって生活を進められるようにしていきます。

年長ぞう組

音楽会の取組を通して、友達の音や声を聴きながら、みんなの気持ちが揃い、音が合う心地よさを体感してきました。友達と助け合いながら、遊びも生活も自分たちでどんどん進めています。

ぞう組で過ごすのも残り1ヶ月。帰りの会では、毎日「みんなで遊べるのは、あと〇日。」と幼稚園に来る日数を確認しています。小学校へ行く期待感、ぞう組の仲間と離れる寂しさを感じているようです。

残りの日々も幼稚園でたっぷり遊び、大きくなったことや良さを認め合いながら、22名一人ひとりが仲間と過ごすことを嬉しく、楽しく思えるようにします。そして、いろいろなことに挑戦する姿を最後まで支え、自信をもって小学校へ向かえるようにしていきます。

また、大きくなるためにたくさんの人が支えてきてくれたことを実感し、お世話になった方に感謝の気持ちを伝えられるようにします。

